

みらい通信

第19号

発行元 NPO法人紫波みらい研究所
連絡先 〒028-3318
岩手県紫波郡紫波町紫波中央駅前1-2-2
電話 019-671-2244
FAX 019-671-2243
E-Mail miraiken@shiwa-mirai.com
ホームページ http://www.shiwa-mirai.com
発行日 平成19年7月

参加しました！ 星山みんなの森植樹祭！

平成19年6月30日(土)開催 紫波町、紫波町教育委員会主催

星山小学校新校舎の完成を記念し、校舎建築に使用した町有林の伐採跡地で植樹が行われました。

星山小学校の児童、地域住民およそ130人が集まり、1000本のスギの苗を植樹しました。植樹した苗の中には、児童が昨年の環境学習の時間にどんぐりを拾って育てた苗木もありました。

植樹の前に、紫波みらい研究所理事の菅原和博さんが「私たちは森から命をいただいている。自然の山は木が枯れていく量と成長していく量はほぼ同じ。それにちょっと手を加えることで立派な森を育てることができる。今日は木に愛情を持って植えて欲しい」と話しました。

植林地は急斜面の山でしたが、一本ずついねいに植えられ、緑の苗木でいっぱいになりました。

最後に、児童代表の2人が「僕たちの校舎に木を提供してくれた森に感謝の気持ちを伝え、未来の人々のために今度は僕たちが木を植え、残す番です。ここを『みんなの森』と名づけ、守り続けていきます」と宣言をしました。



苗を植える子どもたち



植林したスギの苗



児童が育てたどんぐりの苗

臨時総会の様子

7月5日(木)に紫波グリーンホテルで、平成19年度臨時総会を行いました。

第1号議案「理事の選任について」

第2号議案「定款の変更について」

理事の選任については、6人の理事で運営を行っていましたが、新たに菅沼裕悦さんと松坂みき子さんの2人が選ばれ、承認されました。

定款の変更については、事務局から定款第8条を右記の通り変更したい旨の提案があり、承認されました。なお、これに伴い賛助会員の会費の変更も承認されました。

定款 変更した定款の条文

新 会員、賛助会員は、総会において別に定める会費を納入しなければならない。

旧 会員、賛助会員は、理事会において別に定める会費を納入しなければならない。

変更した賛助会員の会費

新 個人(年額) 一口2,000円(何口でも)

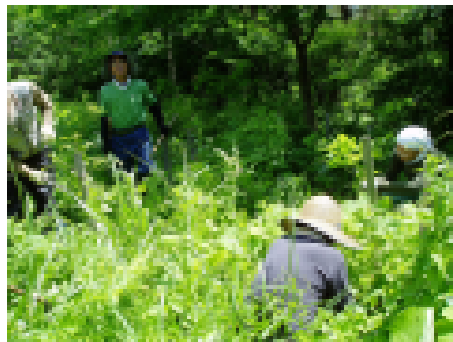
法人(年額) 10,000円

旧 年額 10,000円

行ってきました！平成の森 下草刈り

平成19年6月16日(土) 企画・運営 紫波みらい研究所 森と家づくりの会(紫波町委託事業)

中学生及び町民が、ヤマグリやミズナラの苗木を植林した平成の森(山王海ダム西側の町有林)の下草刈りを行いました。



紫波みらい研究所、環境マイスター紫波、森和会19人が集まり、カマと草刈り機部隊に分かれて作業しました。作業は2時間ほどで終わり、植樹した苗木の根本まで陽があたるようになりました。

平成の森の下草刈りは、秋にも行う予定です。みなさんの参加をお待ちしています。



作業前



作業後

参加者募集

石ヶ森里山づくりプロジェクト第2弾！

8月3日(金)～4日(土)

企画・運営 紫波みらい研究所 森と家づくりの会
(紫波町委託事業)

山の現状を知ってもらうとともにボランティアで間伐・枝打ち等を行います。

昨年に引き続き、国学院大学の学生が紫波町にやってきます。今年度はボランティアの輪がさらに広がり、岩手大学の学生も参加する予定です。迎える地元住民も万全の体制で待っています。



日程 平成19年8月3日(金)～4日(土)
場所 石ヶ森地内(紫波町彦部字石ヶ森)
集合時間 午前8時30分受付(3日、4日共通)
場所 産直楽々駐車場
参加費 一人二日間1,000円(保険代、昼食代含む)
内容 下草刈り、間伐、枝打ちなど
持ち物 のこ、ナタ、かま・ヘルメット、軍手、雨具など。道具のない方は、こちらで用意します。
申込締切 7月27日(金)

参加申込は紫波みらい研究所事務局へご連絡をお願いします。

参加者募集 良好な水環境を創出する下水道施設見学会

私たちが自然と共生し、快適な生活に欠かせない下水道事業。処理施設を見学し家庭から出る生活排水の適正な処理について考えてみませんか。

日時 7月20日(金)午前8時45分から正午まで

集合場所 サン・ビレッジ紫波駐車場

見学施設 紫波浄化センター、盛岡市中川原終末処理場

定員 25人 参加無料

申し込み 7月19日まで

NPO 法人紫波みらい研究所 TEL671-2244

下水道課業務管理室 TEL672-2111 内線 5321

共催 紫波町下水道課、NPO 法人紫波みらい研究所



レジ袋減らし隊！

レジ袋は全国で年間 305 億枚使われています。このために約 60 万 k の石油が使われ、レジ袋 1 枚が燃やされると 9g の CO₂ が出ます。

平成 19 年 4 月に改正された「容器リサイクル法」の施行を機会に、地域活動集団の生活学校、生活会議、全国地域団体連絡協議会、(財)明日の日本を作る協会が関係諸団体と連携し、身近なレジ袋削減を目指して全国的な運動を展開します。

取り組み内容は、消費者がレジ袋減らし隊に賛同する店舗で買い物をし、レジ袋を断れば、専用スタンプカードに、店からハンコやサインをもらいます。30 個たまったらカードは取扱団体に提出していただきます。取扱団体が主催者に送付し、全国の削減数を集約して公表します。

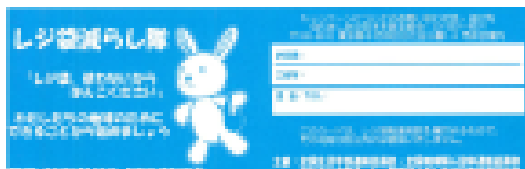
運動期間は平成 19 年 7 月から 12 月 31 日までです。

皆様のご協力をお願いします。

レジ袋減らし隊の協力店舗(紫波町店舗のみ)

NACS、ロッキー、ホームック、紫あ波セ本舗、葛岡書店、紫波みらい研究所

協力店舗以外でもレジ袋を断ったら自分のハンコを押しても可。



専用スタンプカード

紫波町内イベント案内

陣ヶ岡 あじさい祭

7月21日(土曜日)

陣ヶ岡の歴史勉強会 午前10時~

唄と踊りのステージ 午後1時~



五郎沼 古代ハス花見会

7月28日(土曜日)午後2時~

五郎沼駐車場にて

- ・中尊寺による講話 1時間(無料)
- ・懇親会 会費 2,000円
- ・フォトコンテスト

写生コンクール(それぞれ小学生の部と幼児の部あり)



第2回 紫波・平泉フォーラム

8月18日(土曜日)

午後1時30分~3時45分

場所 NACSホール

参加費 500円

パネルディスカッション「連携をめざして」

藤原清衡の父、経清の時代から縁の深い平泉と紫波の歴史的な関りを結び合わせ、「連携」と「地域づくり」を語り合います。

参加者募集

第16回 環境探検隊

生き物探しと三二沢登り

企画・運営 紫波みらい研究所地元学協会
(紫波町委託事業)

7月29日(日) 午前8時30分～

親子で森の中を探検し、沢や森の中の生き物を見つけてもらいます。ふだん住んでいるところにいる生き物との違いを楽しみながら体験し、紫波町の自然環境について考えてもらうことを目的とします。

実施場所 片寄地区の山

集合場所 漆立公民館

参加費 一人200円

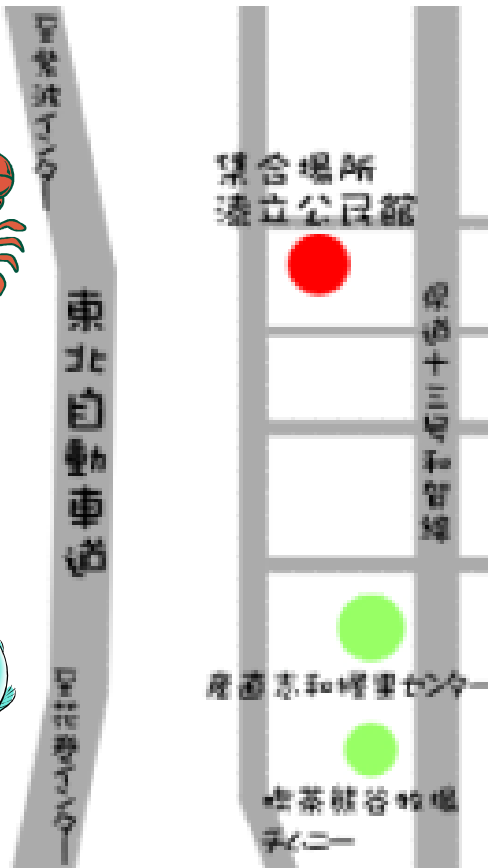
定員 先着10組の親子(小学3年～6年生)

服装 水に濡れてもいい服装(長袖、長ズボン)、ズック(サンダルは不可)
ヘルメット(無い方はお貸しします)

持ち物 昼食、飲み物、帽子、軍手、雨具、着替え(必要な場合)

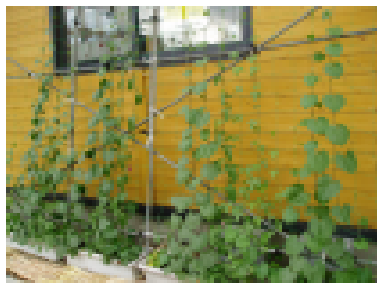
申込締切 7月23日(月)

参加希望の方はみらい研究所事務局にご連絡ください



緑のカーテンプロジェクト

6月に植えたアサガオの苗です。今年はネットにしてみました。すくすくと成長中です。皆さん見に来てください!



業務時間変更

環境循環 PR センター(紫波みらい研究所)の業務時間が下記のとおり変更になりました。

月～金 9時～6時

土曜日 10時～5時

休日 日曜・祝祭日

紫波みらい研究所定例会

今回の定例会は8月8日(水)です。忘れないで参加してくださいね!

編集後記

紫波中央駅西側の空き地を一部お借りして、環境マイスター紫波と一緒にひまわりの苗を植えました。まだまだ小さな苗ですが、夏になって花を咲かせるのが今から待ち遠しいです。

会員数

平成19年7月現在

個人会員：90人

団体会員：4団体

賛助会員：4人